

トピックス

《 国土交通省 車体整備の透明性確保へ ガイドラインを発表 》

国土交通省（以下 国交省）ではビッグモーターなどによる不正保険請求及び不適切な車体整備を受け、2024年3月に『車体整備の消費者に対する透明性確保に向けたガイドライン』を発表しました。その中で実施することが求められる取組みとして、

1. 車体整備作業に係る画像情報の記録・保存
2. 車体整備作業の内容・方法に係る情報の記録・保存
3. 車体整備の料金に係る情報の記録・保存
4. 車体整備に係る情報の関連付け
5. 消費者等への適切な説明と消費者等の了承

以上の5項目が明示されています。尚、ガイドラインの最後には「実施することが望ましい取組み」として

1. 車体整備の見える化
 2. 消費者に対する積極的な情報発信
- の2点も示しています。ガイドラインは交通省HPよりダウンロード可能です。

話題の新製品

Sikaflex 529 Evolution



吹き付け可能なシーラーとして評価の高いSikaflex529ATが、この度 更に施工性を改良し新たに『Sikaflex529 Evolution』として発売されました。従来のSikaスプレーガンに新設定のスプレーガンアダプターと各種ノズルを装着することにより下記の6種類の仕上がり形状を作り出せます。カラーはオーカーとブラックの2色を設定。ともに容量は290mlの樹脂製カートリッジタイプとなります。



トピックス

《 指数テーブル 補修塗装指数を一部改定 》

2024年4月、自研センターでは指数テーブルの補修塗装指数について下記の通り改定を発表しました。

1. ブース加算の適用条件変更

旧) 2K 塗料の場合、遅乾タイプクリヤーのみ対応 → **新) 使用する塗料によらず1回加算します**

*ただし、塗料共通で3コートパール、高機能塗装の場合は、ブース使用を前提とし加算基礎数値の中にブース加算が含まれているので、塗装ブース加算は不要です。また樹脂バンパ補修塗装指数は、ブース使用を前提とし指数の中にブース加算が含まれているので、塗装ブース加算は不要です。

2. カラークリヤ塗装に対応する加算数値の新設

「補修塗装指数 付加指数（車種共通）」にカラークリヤ加算を追加

カラーベース（メタリック）の上にカラークリヤを塗装するもので、さらにトップコートのクリヤーが必要となります。

いづれも詳しくはコグニビジョン株式会社より販売中の『指数テーブルマニュアル変更表の案内』に記載があります。

またプロトリオス社発行のボデーショップレポート2024年6月号 P 36に特集記事が掲載されていますので、こちらも是非ご参照ください。